

春の永代経のご案内

長善寺

今年の冬は大雪でした。三回も雪下ろしをしたのは久しぶりです。でも急に暖かくなり、あっという間に融けてしまいました。

今年も永代経の季節がやってきました。写真は大垣の美濃路の道しるべです。息子のアパートの近くで見つけました。

御陰様で息子はよき伴侶に恵まれて新たな生活をスタートさせました。益々のご指導よろしく願います。

さて、この道しるべをよく見ると、左江戸道、右京みちと書いてあります。最初に見た時アレ?と思いました。左右が逆じゃないかと。ところがよく見ると、この碑の上には梵字で阿弥陀如来を示す文字が書いてあります。ということは阿弥陀様が、右手の方を指して「こちらが京都」、左手を指して「こちらが江戸」と示しておられるということになります。

私たちはつい自分を中心に物事を見てしまいます。この碑はそれを戒めるために何百年と立って私たちに教えていたのです。

このように先人が指し示し生きていった道を考えることは、先に往かれた方たちとの出遇いを意味づけることだと思えます。そして仏様との出遇いを感じることでもあります。この出遇いを通じて同じ道を歩ませていただくことを、その道はお浄土に確実に至る道であることを、お浄土で相まみえることを共に慶びたいと思います。称名



一、日時 四月二十八日(土)

日中 十時 粗食ながら昼食を準備しています。

逮夜 一時 お勤め 自坊にて

日中：正信偈念仏・和讃・法話「仏さまの指し示し」

逮夜：大無量寿経・和讃・法話「現生正定聚」

一、永代経加入のご先祖